

Volunteer Information 日野

ボランティア
インフォメーション

2024 6月

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会
日野市ボランティア・センター

＼スマホを教えるボランティア/ スマホお助け隊養成講座

スマホお助け隊になって、仲間と一緒にスマートフォンで困っている方々をサポートしましょう。

講座日程 (いずれか一つの受講でOK!)

6/27(木) 9:30~12:00 多摩平交流センター

7/3 (水) 13:30~16:00 福祉支援センター

7/24(水) 13:30~16:00 平山交流センター

【内容】スマホの基本操作と伝わりやすい教え方・よくあるトラブルQ&Aなど

【講師】株式会社アミュー

【対象】受講後にスマホ講座のお手伝いができる方

【参加費】無料 【定員】30名

【申込方法】6月4日(火)9時から来館・電話もしくは右記

【問合せ先】日野市中央公民館 TEL=042-581-7580 (月曜日を除く)



申込フォーム

♡今月の注目ボランティア

Check!



子どもの学習支援と居場所支援

内容：小・中学生の学習指導・見守り・付き添い（外出時やイベント時）、給食の調理補助・手伝い
活動先：日野市東豊田3-23-3 湧水亭
日時：月・木・金 10：00～15：00
又は午前中のみ
団体名：フリースクール寺子屋 のびのーび

将棋相手募集

内容：デイサービスに通っている利用者の将棋相手
活動先：日野市多摩平1-14-97
日時：火・金 11：00～12：00
施設名：多摩あんしん館

ボランティアセンターで できるボランティア

内容：食品の仕分け・箱詰め作業
パソコン事務・封入作業
ホスピタルアートづくり
活動先：中央福祉センター
日にち：月～金 9：00～17：15



もっとボランティア
情報が見たい方は
こちらのQRコード
をお読みください。



問合せ先：ボランティアセンター ☎042-582-2318)

今月のスマホ個別相談会

中央福祉センター（日野本町7-5-23）
6月10日（月）①13：30～14：15
②14：30～15：15
多摩平交流センター（多摩平2-9-9）
6月25日（火）①13：30～14：15
②14：30～15：15

無料・完全予約制

※2ヶ月連続の申込・同月複数回の申込不可
※個人情報や料金に関わる相談は対応できない場合あり

わかるとスマホが好きになる！

スマホ体験会「ぽちぽち」

中央福祉センター（日野本町7-5-23）
6月10日（月）・7月8日（月）
11：00～12：00



- ・電話をかけてみよう
- 体験内容 ・物の名前を調べてみよう
- ・スマホと会話してみよう

【申込先】日野市ボランティア・センター（042-582-2318）

日野市授産事業地域連携システム 日野わーく・わーく

日野わーく・わーくは、現在市内 7 カ所の障害福祉サービス事業所等が加盟しています。企業からの共同受注や共同販売、アンテナショップの運営、商品開発や仕事の開拓に協力して取り組み、地域の活性化や働く力を発信、作業工賃の向上を目指しています。

現在行っているお仕事

- ・商工会清掃、公園、駐車場清掃 ・ポスティング
- ・DM 封入 ・製品の梱包、箱詰め ・食品の製造、販売
- ・缶バッチ分別作業 ・贈答用菓子折り など

仕事のご依頼承ります！

お問い合わせ 042-843-1008

豊田駅北口ショップ 「わーく・わーく」

手作りのお弁当やパン、焼菓子、生活雑貨など、加盟事業所が心を込めて作った製品を共同で販売しています。ショップを通して、地域の活性化に力を入れています。



@HINOWORKWORK

SHOP DETA

営業時間：月～金曜日 9：30～16：00
お問い合わせ：042-514-8484

日野市多摩平 2-5-1 クレヴィア豊田 多摩平の森
RESIDENCE 内サウスレジデンス 1F
日野市障害者生活・就労支援センターにこわーく内



図書館音訳者募集

日野市立図書館では、視覚障害者等、活字を読むことに不自由のある方々のため、録音図書を製作したり、利用者の方と対面して本を朗読したりする対面朗読サービス等を行っています。この度この活動を支えてくださる音訳者を募集します。



【対象】

以下のいずれにも該当する方

- ①音訳者の経験がある方、または朗読やナレーションの経験がある方
- ②自分専用のウィンドウズパソコンを持っている方
- ③年齢が概ね65歳までの方

【募集期間】

2024年7月31日（水）まで

【募集人数】

10名（書類選考・面接・適性検査あり）

問合せ先：日野市立図書館障害者サービス担当
電話：042-581-7612

シニア向け

出張型スマホ講座実施団体募集

スマホの使い方にお悩みの方を対象とした出張型スマホ講座の申込を受け付けています♪



スマホ体験会



個別相談会

対象団体：自治会・サークル団体等

実施方法：①体験会型 ②個別相談型

実施期間：6～11月（原則、土日祝日除く）

講師：スマホお助け隊

費用：無料(会場費等は別途負担あり)

問合せ：ボランティアセンター

(☎042-582-2318)

国際クッキング

ペルーの家庭料理をご一緒に

セビーチェ アヒ・デ・ポジョ チチャモラダ

※写真はイメージ

ペルーの家庭料理を楽しく作って美味しく頂きながら、ペルーの文化に触れるひと時をご一緒体験しませんか？

日時：6月23日（日）10：00～13：00

場所：日野市中央公民館

講師：平根 カルメン氏

参加費：1000円 定員20名

持ち物：エプロン・三角巾（バンダナ）・ふきん

申込先：石川明子（☎042-583-8634夕方6時以降に）

主催：日野国際友好クラブ

活動団体紹介コーナー

“こぼし場ななめ食堂”

こぼし場ななめ食堂は、日野市内の複数個所で開かれている子ども食堂です。暖かいスタッフの方々からおいしいごはんを作ってお待ちしております♪



食堂が始まる前から学校終わりの子どもたちが集まっていて大賑わい。メニューもその時々で変わり、どれも手が込んでいて美味しそうです(^)。小学生はもちろん、小さなお子さまのいる親御さんや地域の方々もお待ちしております！

「みんな」で笑えるこぼし場食堂
あなたの地域でも開かれているかも♪
詳しい情報はひのう団体紹介ページか
こぼし場ななめ食堂の公式SNSにて！



ひのう紹介
ページ

まちづくり人 コラムリレー

誰もが住みやすい豊かなまちを目指して、日野市内外で輝く「まちづくり人」を紹介します。
あなたもきっと「まちづくり人」！



LOVEEAST 災害支援リーダー 天野 真信 さん

みなさまから与えていただいたものへの感謝を胸に

LOVEEAST（ラブイースト）は、東日本大震災の時にできた被災地支援団体です。当時は被災者の方々へ継続した支援を行うために、自分たちで被災地のニーズをお聞きしていました。活動が広範囲だったこともあり、とても苦労したと記憶しています。

被災地支援活動が一段落してからは、コロナ禍の中で仕事を失った、または減ってしまったアーティストの支援などを行っていました。

コロナも落ち着きを見せてきた頃、社会で多く耳にする貧困問題などについて活動をしていこうと検討していた最中で、令和9年能登半島地震が起こったのでした。すぐに現場に行き活動を開始したのですが、最初は苦労の連続でした。被災地活動がしばらくぶりだったのもあり、団体の認

知度もない中での活動でしたので信用を得るまでの間は大変でした。今は、志賀町社会福祉協議会（社協）さんをはじめ、隣の穴水町協さんともしっかりと連携を図れるようになりました。

苦労はありましたが、「被災地には行けないけど私たちの分まで頑張ってきて」と送り出してくださった支援者のみなさまの思いを胸に、被災された方々の力になりたいという一心で今も活動を続けています。

その中で私たちが心がけていることは、依頼者のご負担にならないよう行動することです。被災者の方はご自身が大変な中でも、援助を受けることにより「自分たちのことで迷惑をかけているのではないか」と申し訳ない気持ちを抱えてしまうことがあります。だから、私たちは依頼者にご負担のかからないように活動が終わったらサッと立ち去るようにしています。

今、志賀町社協からのボラ

ンティア依頼はだいぶ減ってきています。

私たちは「最後の1件は私たちが責任をもってしますよ」と伝えていきます。それは、いつ終わるかわからないこの状況でも最後まで一緒にいることを伝えることで、被災された方を支えている人の安心にもつながるからです。

私自身これまで、いろいろな人に助けていただきました。自分が苦しい時に、「俺みたいな人間でも生きていいんだ」と思えたのも人との出会いと居場所があったからでした。多くの方々と与えていただいたものに、大きな感謝を感じています。

穴水町、輪島市、珠洲市と、支援を必要としている地域はまだ多くあります。できる限りこれからも支援を続けたいと思いますので、応援よろしくお願ひします。



倒壊しそうなブロック塀を撤去の様子

先月からボランティアセンターではFacebookで講座の情報やフードドライブのお願いなどを発信しています。インフォメーションだけでは伝えきれないリアルな情報を伝えていきますので合わせてチェックして下さい♪（伊東直樹）



ボラセンつぶやき



能登半島地震のボランティア活動現場に行った際に、東北地方や熊本県など被災された地域の方が多く支援に入っていました。助けられたことに感謝をしながら今被災した人を支えていることを知り胸が熱くなりました。（宮崎雅也）



今年度も福祉体験講座が小学校を中心に始まりました。1年をかけて多様な方々と出会い、沢山の経験をしてもらえたら嬉しいです。どんな人とも仲良くなれてしまう小学生って本当にすごいですね^^（橋谷優希）



障害者施設「はくちょう」の皆さんが作成したスウェーデン刺繍を「はなみずき（手芸ボランティア団体）」が袋物などの製品にしてバザーなどで販売。今年もはなみずきさんへ刺繍が託されました。素敵な作品必至（中村康子）

